

本黨、官憲、協同教線に對して労働階級の協同教線を其係約を断かす  
争議の場合に適用することゝあり、併し、殊に職禁組合の排斥的對  
見の支配してゐる幾が國の労働組合運動は、この階級納行動を今國の  
議に於て其權はし得なかつた、之は殊に労働組合運動の缺陥を以て、此  
は國のゴッホの如きものゝこゝろあるが爲に、殊に労働組合は可成る範圍に於  
ける十分な力を發揮することゝ出来なべし、故に以て職禁組合の  
排斥的對見は殊に労働階級の階級競争と生活向上の障害物とな  
ると云ふことが出来た。

此の偏見を除きし得る手段は、わが國労働組合を産業別的總合的に統  
一するに外に手段はないのである。

結 論

逆反争議の 結論は斯うである。

現在の幾國の資本階級は労働者の僅少な生活改善にも譲歩をせず、  
徹頭徹尾労働者の生活低下をのみ心かり大資本と官憲の擁護の下に個々の  
戦線に於て労働者の競争を打ち破つてゐる。

この組織的有資本の攻勢を前にして労働階級の個々の競争では甚だ勢力が微  
弱なり、常に敗北を運命づけられてゐるから労働階級の生活状態を維持改  
善するにはどうしても全階級的に團結しなければならぬ。

それ以上の階級的團結を階級の精神に統一しなければならぬ、以て全労働階  
級の階級的團結を達成する過程として殊に日本労働組合評議會は全國組  
合會議を以て凡ゆる可成る利用し、全力を集中して作り出すことを日本の全勞  
働階級に誓ふものゝこゝろである。

更に日本農民の今回の争議の意義に鑑み今後益々日本農民とより聯合を  
深め、日本農民が地主との競争を遂行する場合に殊に労働組合評議會は全